

貯金法務研修

研修目的	貯金業務に関連する法律の基本的な知識を習得し、日常業務のひとつひとつについての法的な意義を認識して実践できる職員を目指す。
受講対象	貯金業務に関連する法律の基本的な知識を習得したい者 ≪メインターゲット≫ 信用事業部門の業務経験2年未満の担当者および新任管理者（信用事業未経験者） （ただし、新入職員・他事業からの異動者（信用事業未経験者）は、「信用事業入門研修」または「信用事業基礎研修」を受講した職員に限る）
受講人数	推奨：30名（上限：40名まで）
研修日程	1日 （「貯金の相続」セッションを追加する場合は、1日半もしくは2日研修）
研修講師	農林中金アカデミー

【研修プログラム】

	10	11	12	13	14	15	16	17									
研修内容	開講挨拶 オリエンテーション	貯金の種類	貯金の成立	貯金の払戻し	(昼食)	セッション確認テスト①	金融商品販売法・金融商品取引法と消費契約法	秘密保持義務と個人情報保護法	セッション確認テスト②	貯金取引の相手方	貯金取引の相手方（つつき）	貯金の差押	セッション確認テスト③	全体振り返り	研修内容確認テスト	閉講挨拶	
時間	10	10	25	50	50	60	15	25	20	15	30	30	20	15	15	20	10

事前課題	あり	研修受講前に研修の重要ポイントを把握させることで、受講効果の向上を狙い、併せて研修参加への意識を高める ◇研修で取り扱う重要ポイントについて、事前予習として簡易なテストを実施する（○×問題） ◇テストを事前配付し、解答を記入したものを研修当日に持参させる
事後課題	なし	